

情報工学系（学士課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

情報工学系では、次のような人材を求めます。

- ・情報工学分野に興味があり、自ら積極的に学習し新しい問題に挑戦できる人
- ・コンピュータのハードウェアやソフトウェアの知識や技術を活かして、高度な情報化社会の実現と発展に貢献したいという強い志を持つ人

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

【一般入試（前期）】《全類共通》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、高等学校の段階の学力確認を行うとともに、本学で学ぶために必要となる、数学、物理、化学および英語に関わる基礎学力ならびにこれを応用する力、論理的な思考力を評価する試験を行います。

【特別入試（AO入試）】《5類》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、以下の内容で試験を行います。

- ・筆記試験においては、与えられた技術課題に対する解決法を提案し、それを論理的かつ明快に記述する能力を問います。
- ・面接試験においては、電気や情報の分野に対する志望動機、学習意欲及び適性を評価します。

情報工学系（学士課程）

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本系では、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

- A) 情報工学分野の専門基礎学習
情報工学基礎科目の学修
- B) 情報工学の応用学習
情報工学発展科目および実習を含むプログラミング科目による理論の実践を学ぶ学修
- C) 広い視野を養い、主体的に進める学修
研究プロジェクト学士特定課題研究などに加え、助言教員との対面修学指導、研究室公開などを通じて主体的に取り組む力をつける学修
- D) 社会との関わりを体験する学習
社会で活躍する講師陣らによる、専門科目を通しておこなう体験学習や技術者倫理の学修
- E) コミュニケーション能力の強化学習
学士特定課題研究の論文作成に要求される論理的に文書を組み立て、明解に記述する能力、ゼミやプレゼンテーション科目を通じた発表力の養成学修

ディグリー・ポリシー（修得する力）

情報工学系では、次のような力を修得することができる。

- ・ 情報基盤・情報システム・情報サービスを支える技術開発・研究に必要な基礎学力と論理的思考能力
- ・ ハードウェア・ソフトウェア・人工知能の基盤知識
- ・ 現実の問題の本質的な構造をとらえ、それをモデリングする能力
- ・ 人工知能の技術を社会のさまざまな課題に応用する能力
- ・ 離散系の基盤知識と連続系の基盤知識を融合して、広い技術分野に対しハイブリッドなアプローチが可能な能力
- ・ 他人の意見を尊重しつつ、自分の意見を論理的に表現できるコミュニケーション能力と高い倫理観